

2022 年度放射線授業事例コンテスト 放射線授業事例

タイトル	新しい放射線学習の提案 ～放射線発見の歴史と放射線の性質と利用～
所 属	永平寺町立永平寺中学校
応募代表者	伊藤 慧
共同応募者 <small>※単独での応募の場合、 記入は必要ありません。</small>	(所属・氏名) 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」 小鍛治 優
対象（校種・学年）	中学校 2 年生
教科・領域・単元	理科 電気の世界
ね ら い	先入観なしで放射線の本当の姿を理解する
授業での実践	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施
キーワード	放射線発見の歴史、放射線の利用と障害の歴史
内 容	放射線は、「医療」・「農業」・「工業」・「研究」などの分野で大いに利用されていて、なくてはならないものである。しかし、ほぼ毎年、放射線の授業を行ってきたが、授業前に初学者の生徒に放射線のイメージ等を聞くと、「危ない」「危険」「当たると死ぬ」「原子爆弾」などのマイナスイメージを答えることがほとんどである。事前に耳に入る放射線に関することがマイナスの話ばかりということであろう。そこで、放射線の発見の歴史や放射線の利用の歴史、また一方、障害の歴史を取り扱うことで、放射線を先入観なしで、正しく・科学的に学ばせるための授業案を作成し実践した。
参考文献	